



福良ヶ丘小だより

丘っ子スローガン「つくりあい」（創りあい）

第22号

白杵市立福良ヶ丘小学校

令和8年10月5日

発行者 木下 裕章

1・2年生「アフリカンサファリ」社会科見学のまとめを掲示

9月28日（月）～10月2日（金）の期間、1・2年生が社会科見学「アフリカンサファリ」学習のまとめを児童玄関前に掲示しました。

1・2年生は、6つの班に分かれ、全校児童のみなさんに伝えたい動物を一つ選び（「チーター」「モルモット」「リスザル」「カンガルー」「ライオン」「ポニー」）、その特徴をクイズにしてみました。

例えば、「チーターは何秒走れるでしょう?」「リスザルのしっぽは、長いかな短くないか?」「カンガルーのオスとメスのちがいは何でしょう?」「ライオンのたてがみがあるのは、オスとメスのどっち?」など、見学での発見や体験を活かした工夫あふれるクイズばかりです。模造紙にはクイズだけでなく、写真を貼ったり、絵を描いたり、班で相談しながら、上手に仕上げていました。

児童玄関前で掲示は一度終了しますが、10月17日（土）の「ふくらボ」の日には、教室前の廊下に掲示いたします。ご来校の際は、子どもたちのがんばりをぜひご覧ください。どうぞよろしくお願いいたします。

うすき竹宵オブジェ制作始動!テーマは「えがお」

10月4日（日）うすき竹宵オブジェ制作に向けて、保護者のみなさまと6年生児童による共同作業を行いました。

- ・竹宵実行委員会の保護者のみなさまによる竹の切り出し作業
- ・6年生の児童・保護者による切り出した竹に穴を開けたり、サンドペーパーでのふちを磨き

休日にもかかわらず、多くのみなさまにご協力いただき、本当にありがとうございました。

6年生が考えた今年の竹宵オブジェのテーマは「えがお」です。今の世の中では、戦争が起きていたり、地震や大雨、火災などの災害が何度も起きていたりしています。そのことで、悲しい思いをしている人がたくさんいるはず。子どもたちは「えがお」が増えると「幸せな気持ちになる」「つらいことを忘れられる」「楽しくなる」「疲れが吹き飛ぶ」と考えました。観に来てくださる方を一人でも多く「えがお」にしたい、そんな強い願いが、このテーマにこめられています。

6年生は、これから自分たちで考えたオブジェの完成めざして、こつこつ制作に取り組んでいきます。1年生から5年生は、11月7日（土）親子竹宵参観日で、一人一本竹ぼんぼりを作り上げます。こうして全校児童が心をこめて作ったオブジェと竹ぼんぼりは、11月7日（土）8日（日）の2日間、サーラ・デ・うすきの中庭に展示します。ぜひ多くのみなさんにご覧いただき、たくさんの「えがお」が広がる2日間になりたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。



[福良ヶ丘小学校のHPにクリック](#)